

加賀信広教授還暦記念 言語学特別ワークショップ
「られる」と「らさる」の言語学
～日本語の受動文・関連構文をめぐる～

日本語の受動文に関するワークショップを開催いたします。日本語受動文と関連現象を、統語、意味、語用論の観点から分析した講演と研究発表（計7件）を予定しております。「ラレル」で表現される日本語受動文と自発・可能表現、逆使役現象、北海道方言・気仙沼方言（ケセン語）の「ラサル」形表現が関連する脱使役現象など、幅広いトピックをカバーしています。日本語学、英語学、方言学などにご関心をお持ちの多くの皆様のご来聴をお待ちしております。

日時：2018年9月4日（火）12:00～17:15

場所：筑波大学 大学会館国際会議室

備考：参加費無料、事前申し込み不要

講演

加賀信広（筑波大学） 「意味役割階層と『られる』：自発・可能・受身の統語論」

研究発表

石田 尊（筑波大学） 「現代日本語受動文の分類上の多様性について：有生性制限の役割」
小薬哲哉（大阪大学） 「日本語の受動と再帰—動作主性の観点から」
並木翔太郎（筑波大学[院]） 『er 動詞 + らさる』の非文法性について」
新沼史和（盛岡大学） 「自他交替とサル表現」
本間伸輔（新潟大学） 「日本語の所有者受動文について」
宮腰幸一（筑波大学） 「受動と逆使役」

※各発表のタイトルは変更になる場合があります。発表順等の詳細は、決定次第、「筑波大学英語学研究室」ウェブサイトでご案内いたします。ご不明な点は下記連絡先にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先（☆を@に変えてください）：

金谷 優（筑波大学） kanetani.masaru.gb☆u.tsukuba.ac.jp

今野弘章（奈良女子大学） konno☆cc.nara-wu.ac.jp

筑波大学英語学研究室

検索

<http://www.lingua.tsukuba.ac.jp/eigogaku/>

会場までのアクセス

- ・つくばエクスプレスつくば駅から筑波大学循環バス右回りで8分（「大学会館前」下車）
- ・東京駅八重洲口から高速バス「つくば号」で75分（「大学会館」下車）
- ・バス停から大学会館までについては筑波大学 HP キャンパスマップの「南地区」をご覧ください。

(https://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba_campus.html)